

区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
英文原著	1		Takahashi Y, Fujiwara T, Yamaguchi T, Matsunaga H, Kawakami M, Honaga K, Mizuno K, Liu M: Voluntary contraction enhances spinal reciprocal inhibition induced by patterned electrical stimulation in patients with stroke. Restorative Neurology and Neuroscience 36: 99-105, 2018.	
英文原著	2		Nishimoto A, Kawakami M, Fujiwara T, Hiramoto M, Honaga K, Abe K, Mizuno K, Ushiba J, Liu M: Feasibility of task-specific brain-machine interface training for upper extremity paralysis in patients with chronic hemiparetic stroke. J Rehabil Med 50: 52-58, 2018.	
英文原著	3		Okuyama K, Kawakami M, Hiramoto M, Muraoka K, Fujiwara T, Liu M: Relationships between spasticity and spinal neural circuits in patients with chronic hemiparetic stroke. Exp Brain Res 236: 207-213, 2018.	
英文原著	4		Kawakami M, Okutama K, Takahashi Y, Hiramoto M, Nishimura A, Ushiba J, Fujiwara T, Liu M: Change in reciprocal inhibition of the forearm with motor imagery among patients with chronic stroke. Neural Plasticity 2018: 39463679-.10115520183946367, 2018.	
英文原著	5		Yamaguchi T, Fujiwara T, Lin SC, Takahashi Y, Hatori K, Liu M, Huang YZ: Priming with intermittent theta burst transcranial magnetic stimulation promotes spinal plasticity induced by peripheral patterned electrical stimulation. Frontiers in Neuroscience : 10.3389/201800508, 2018.	○
英文原著	6		Kitahara E, Shimo Y, Mori H, Nagaoka M, Preservation of explicit learning of visuomotor sequences during Parkinson's disease progression. Scientific Reports (2018) 8:10337 DOI:10.1038/s41598-018-28640-2	
英文原著	7		Motosi Gomi, Katsuhiko Maezawa, Masahiko Nozawa, Takahito Yuasa, Munehiko S Sugimoto, Akito Hayashi, Saiko Mikawa, Kazuo Kaneko: Early clinical evaluation of total hip arthroplasty by three-dimensional gait analysis and muscle strength testing. Gait & Posture 66(2018)214-220	
英文原著	8		Mizuno K, Abe T, Ushiba J, Kawakami M, Ohwa T, Hagimura K, Ogura M, Okuyama K, Fujiwara T, Liu M: Evaluating the effectiveness and safety of the electroencephalogram-based Brain-Machine interface rehabilitation system for patients with severe hemiparetic stroke: Protocol for a randomized controlled trial (BEST-BRAIN Trial). JMIR Res Protocol 7: 12339, 2018.	
区分	番号		発表者名、発表タイトル（題目・演題・課題等）、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国際学会発表	1		Fujiwara T: Transcutaneous spinal stimulation for gait restoration. Neuromodulation for functional recovery. 第12回 International Society of Physical & Rehabilitation Medicine World Congress, Paris, 2018 July	
区分	番号	学位論文	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文原著	1		錢臻、長岡正範、林 康子、上岡雅子：パーキンソン症候群患者への運動療法の効果 ビデオカメラ画像の解析から。運動障害28（1）：21-27, 2018	
和文原著	2		宮原 由佳, Murallitharan Munisamy, Surasa Khongprasert, Robert S.Chapman,林 明人,Roongroj Bhidayasiri：握力評価から考察されるパーキンソン病における上肢筋力低下症状に対するタイ古式マッサージの効果の検討：ランダムイズスタディ、日本運動障害研究会機関誌 Vol.28,No.1 1-8, 2018	

区分	番号	全著者名、論文名、掲載誌名、掲載年；巻（号）：ページ番号	国際共同
和文総説	1	藤原俊之: Entrapment neuropathy. Jpn J Rehabil Med 55: 418-422, 2018.	
和文総説	2	藤原俊之: 歩行障害のリハビリテーション治療—経皮的脊髄電気刺激. Jpn J Rehabil Med 55: 757-760, 2018.	
和文総説	3	長岡正範：姿勢異常に対する理学療法. 神経内科,89(4):413-420, 2018	
和文総説	4	林 明人：「リハビリテーション」理学療法・作業療法・言語聴覚療法,日本臨床パーキンソン病（第2版）増刊号 基礎・臨床研究のアップデート 株式会社日本臨牀社,560-563,2018年5月	
和文総説	5	志村秀樹,服部信孝,林 明人:パーキンソン病-運動障害が前景にみられる疾患群,MEDICAL REHABILITATION No.223(2018年6月増刊号)次のリハビリテーションに生きる！私の脳疾患評価 全日本病院出版会,2018年6月15日	
和文総説	6	高倉朋和, 知っておきたい脳卒中下肢装具の知識 :プラスチック短下肢装具(継手なし)の知識 MEDICAL REHABILITATION ,2018, 225, 8-15	
区分	番号	全著者名、書籍名、出版社名、出版年；巻（号）：ページ番号等	国際共同
和文著書	1	藤原俊之: 痙縮治療ポケットマニュアル. . 医歯薬出版, , 2018.	
和文著書	2	藤原俊之: 電気刺激療法：HANDS therapy. 神経疾患最新の治療2018-2020. 南江堂, 80-82, 2018.	
和文著書	3	岡田隆夫、鈴木敦子、長岡正範、標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 生理学 第5版、医学書院、2018	
和文著書	4	林 明人：パーキンソン病診療ガイドライン2018,日本神経学会監修,株式会社医学書院,2018年5月15日	
和文著書	5	林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,マネジメントにおけるリハビリテーションとは？,日本医事新報社,1-5,2018年11月30日	
和文著書	6	加藤 雅之、林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,運動療法とは？,日本医事新報社,35-40,2018年11月30日	
和文著書	7	見川 彩子、林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,携帯歩行分析とは？,日本医事新報社,59-66,2018年11月30日	
和文著書	8	大山 彦光、服部 信孝、林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,首下がりの病態とは？,日本医事新報社,67-72,2018年11月30日	
和文著書	9	保田 由美子、林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,作業療法とは？,日本医事新報社,92-98,2018年11月30日	
和文著書	10	坂井 譲、林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,言語療法とは？,日本医事新報社,99-104,2018年11月30日	
和文著書	11	林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,ブラッシュアップ入院とは？,日本医事新報社,112-115,2018年11月30日	
和文著書	12	権藤 英美里、林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,リハビリテーションとしての音楽療法とは？,日本医事新報社,124-129,2018年11月30日	

和文著書	13	林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,リハビリテーションの阻害因子とは？,日本医事新報社,195-197,2018年11月30日	
和文著書	14	林 祐介、林 明人：パーキンソン病の医学的リハビリテーション,バーチャルリアリティ(VR)の効果とは？,日本医事新報社,218-223,2018年11月30日	
和文著書	15	寺門 厚彦：下肢切断の理学療法 第4版第1刷, 医歯薬出版, 73-76.81-83、2018年3月10日	
区分	番号	発表者名、発表タイトル(題目・演題・課題等)、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
国内学会発表	1	目黒浩昭、鈴木大雅、佐藤和幸、今村 恵、大田原のぞみ、佐藤悠奈、小曾根優子、長岡正範、小脳出血後において高次脳機能障害が出現しCerebellar Cognitive Affective Syndrome:CCASと診断した1症例、日本リハビリテーション医学会、福岡、2018年6月28日～7月1日	
国内学会発表	2	黒須昭博、BHA後に右下肢痙縮が出現し歩行困難となった脳梗塞後遺症患者に対しボツリヌス治療を行った1自験例、日本ボツリヌス治療学会学術大会、砂防会館 別館 シェーンバッハ・サボア、平成30年9月21日	
国内学会発表	3	林 明人：「痙性斜頸に対するボツリヌス治療：後頭筋群の関与」、第5回日本ボツリヌス治療学会学術大会、砂防会館別館シェーンバッハ・サボア、2018年9月21日、東京	
国内学会発表	4	相場 彩子：「携帯歩行系を用いたアルツハイマー型認知症(A D)患者の歩行解析」、第55回日本運動障害研究会プログラム、2018年1月20日、東京	
国内学会発表	5	相場 彩子：「携帯歩行系を用いたアルツハイマー型認知症(A D)患者の歩行解析」第59回日本神経学会学術大会、2018年5月24日、札幌	
国内学会発表	6	相場 彩子：「携帯歩行系を用いたアルツハイマー型認知症(A D)患者の歩行解析 第2報」、第55回日本リハビリテーション医学会学術集会、2018年6月28日、福岡	
国内学会発表	7	林祐介、一側の視床梗塞にて視床性失立症を認めた一例に対する理学的評価および立位バランス練習の効果、第16回日本神経理学療法学会学術集会、大阪、2018年11月10日	
国内学会発表	8	高倉朋和、佐藤美希、折笠紗絵、生澤瑞樹、岩田瑞季、橋本実、藤原俊之、橋病変による「病的笑い泣き」の2例：情動調節機構としての小脳の重要性、第42回日本高次脳機能障害学会、神戸国際展示場、2018年12月7日	
国内学会発表	9	伊澤奈々、岩室宏一、谷真美、羽鳥浩三、服部信孝、藤原俊之、パーキンソン病患者における立位時および歩行時の足圧分析、第59回日本神経学会学術大会、札幌、2018/5/23	
国内学会発表	10	伊澤奈々、岩室宏一、谷真美、羽鳥浩三、服部信孝、藤原俊之、パーキンソン病患者での足圧測定機能付きトレッドミルを用いた立位・歩行時の足圧分析～第2報～、第55回日本リハビリテーション医学会学術集会、博多、2018/6/28	
国内学会発表	11	伊澤奈々、岩室宏一、谷真美、羽鳥浩三、服部信孝、藤原俊之、パーキンソン病患者における静止立位・歩行時の足圧分析、第12回パーキンソン病・運動障害疾患カンファレンス、京都、2018/7/6	
国内学会発表	12	谷真美、大学病院における 小児装具外来の現状、日本リハビリテーション医学会 第55回 学術集会、福岡、2018年6月28日	
国内学会発表	13	山下晴世、「高齢パーキンソン病患者のリハビリテーション後の改善効果-Barthel Indexを用いて」、第55回日本リハビリテーション医学会学術集会、福岡国際会議場、2018年6月28日	
区分	番号	発表者名、演題、学会名、場所、発表年月日等	国際共同
特別講演・招待講演	1	藤原俊之：神経可塑性を誘導する新しいリハビリテーション治療. 第2回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会、仙台、2018年11月	
特別講演・招待講演	2	藤原俊之：基礎から正しく学ぶ経頭蓋磁気刺激 (TMS). ハンズオンセミナー. 第2回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会、仙台、2018年11月	

特別講演・招待講演	3	藤原俊之: Virtual reality and Neuromodulation. 第2回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会, 仙台, 2018年11月	
特別講演・招待講演	4	藤原俊之: 脊髄刺激により歩行機能再建. 機能再建に向けた脳卒中リハビリテーションの未来. 第48回 日本臨床神経生理学会, 東京, 2018年11月	
特別講演・招待講演	5	藤原俊之: 経頭蓋磁気刺激による機能回復機序の検討. 非侵襲的脳刺激法の最近の知見. 第48回 日本臨床神経生理学会, 東京, 2018年11月	
特別講演・招待講演	6	藤原俊之: 神経可塑性を誘導する新しいリハビリテーション治療. 神経系再生医療を活かすリハビリテーション医療とは. 第1回 日本再生医療とリハビリテーション学会, 2018, 広島.	
特別講演・招待講演	7	藤原俊之: 経皮的脊髄刺激による歩行機能改善. 歩行再建における医師—理学療法士間の連携. 第55回 日本リハビリテーション医学会学術集会, 福岡, 2018年6月	
特別講演・招待講演	8	藤原俊之: 最新の脳卒中リハビリテーション HANDS therapy. 神経疾患に対するリハビリテーション医療の再考. 第55回 日本リハビリテーション医学会学術集会, 福岡, 2018年6月	
特別講演・招待講演	9	藤原俊之: 脳卒中治療ガイドラインから読み解く新しい脳卒中リハビリテーション. 第55回 日本リハビリテーション医学会学術集会, 2018, 福岡, 2018年6月	
特別講演・招待講演	10	林 明人,「パーキンソン病のリハビリテーションと音楽療法」,東葛北部パーキンソン病を考える会,2018年5月31日,千葉	
特別講演・招待講演	11	林 明人,「パーキンソン病のリハビリテーションと音楽療法」,パーキンソン病研究会in足利,2018年6月26日,栃木	
特別講演・招待講演	12	林 明人,「パーキンソン病のリハビリテーション& P D診療ガイドライン2018」,東葛南部パーキンソン病講演会,2018年7月19日,千葉	
特別講演・招待講演	13	林 明人,「パーキンソン病に対する音楽療法」,東急不動産ホールディングスグループの介護住宅・グランケアあざみ野,2018年9月4日,神奈川県	
特別講演・招待講演	14	林 明人,「パーキンソン病におけるリハビリ治療について」,在宅パーキンソン病治療を考える会,2018年9月13日,神奈川県	
特別講演・招待講演	15	相場 彩子:「知ろう 認知症」,口腔ケア研究会,2018年3月24日,足利	
区分	番号	発表者名・著者名、活動内容・タイトル等、掲載・発表情報等	国際共同
その他 (広報活動を含む)	1	林 明人,日本海新聞: 朝刊「歳々元気」、2018年1月25日	
その他 (広報活動を含む)	2	高倉朋和、「中枢神経疾患に対する装具療法」、東京都理学療法士協会江東区支部 第1回講習会、順天堂東京江東高齢者医療センター、2018年7月21日	
その他 (広報活動を含む)	3	伊澤奈々,「パーキンソン病の足圧分析」, Japanese Neurological Parkinson's Disease Seminar, 東京, 2018/10/16	
その他 (広報活動を含む)	4	山下晴世,「高齢者のリハビリテーション」、三島市/順天堂大学保健看護学部共催 介護教室での講演、2018年9月3日	